

P T A 会員の皆様

広瀬小学校 P T A 会長 佐藤 道昭

## 登下校中の安全確保に関する要望活動のご報告

日頃より P T A 活動にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。  
今年度総会にて承認を頂きました要望活動について、下記の通り、実施いたしましたので、報告いたします。ご一読頂ければ幸いです。今回の活動がより安全に通行できる措置に繋がることを期待しております。

何卒、よろしくお願い申し上げます。

## 記

- <内 容> 危険等の指摘が寄せられた勘太踏切や国道 457 号線と開成通りをつなぐ道路などの箇所について、関係機関に対して対応を求める。
- <方 法> 地域団体と連携し、連名にて要望書を仙台市、仙台北警察署、東日本旅客鉄道株式会社宛に提出
- <要望書> 裏面の通り
- <提出日> ・仙台市宛て：2023年7月6日(木)  
訪問：下町町内会様、上町東町内会様、広瀬小学校 P T A
- ・仙台北警察署宛て：2023年7月6日(木)  
訪問：下町町内会様、上町東町内会様、広瀬小学校 P T A
- ・東日本旅客鉄道株式会社宛て：2023年6月28日(木)  
訪問：広瀬小学校 P T A

※上記のいずれも当 P T A からは会長 佐藤が訪問し、要望いたしました。

以上

令和5年7月6日

仙台市長 郡 和子 様

※同趣旨文書を下記宛にも要望

宮城県警察本部 本部長 原 幸太郎 様

東日本旅客鉄道株式会社 東北本部長 三林 宏幸 様

上町東町内会 会長 加藤 和夫

下町町内会 会長 佐藤 和郎

広瀬ニュータウン自治会 会長 伊藤 博之

仙台市宮城地区交通安全協会連合会 愛子支部 支部長 庄司 信治

広瀬中学校 PTA 会長 伊藤 佳世

広瀬小学校 PTA 会長 佐藤 道昭

## 道路及び踏切の安全確保に関する要望

### <要望の趣旨>

国道457号と開成通りをつなぐ市道 愛子1号線（愛子東6丁目1番地付近～第一勘太踏切～愛子東5丁目8番地付近）（以下 当該道路）の通行にあたり、地域住民及び学校保護者より危険が生じているとの指摘が寄せられています。当該道路は、通学路に指定されているにも関わらず、車のすれ違いが発生する場合、路側帯に侵入しなければならない程に幅員が狭く、国道457号と開成通りの抜け道となっており、相互からの車の流入があり交通量が多く危険な状況になっています。

特に、通勤通学時間帯は車の交通量、歩行者が多く危険な状態です。小学生は国道457号側に向かい、中学生は開成通り側に向かうため、歩行者同士のすれ違いも発生しており、路側帯も狭いため、すれ違いの際には、やむを得ず、車道にはみ出しての通行が日常的に行われています。一方で、車同士がすれ違う際は、歩行者がいる路側帯に侵入し、走行するので、歩行者は待機を余儀なくされます。車の通行速度が速く、危険を感じるとの歩行者からの声も寄せられる現状です。

更に第一勘太踏切では、車1台が通行できる程度の幅員しかありませんので、歩行者と車が同時に通行することがあり、特に通勤通学時間帯は交通量が多いことから危険な状態です。

雨や雪、暴風、路面の凍結時など悪天候の場合は特に危険度が増します。例えば、雨や雪の場合、歩行者は傘をさすことから、歩行者同士のすれ違いのために、車道への侵入する幅が大きくなりますし、路面凍結時は、歩行者の転倒や車のスリップを想定した場合、当該道路は車と歩行者との接触を回避するのが困難な狭隘さです。

また、路面の一部が陥没しており、大雨の際には大きな水溜りが発生し、歩行者が迂回を余儀なくされ危険を伴うことや、速度を落とさない車による多量の水はねも発生し歩行者の被害報告も寄せられています。

上記のように当該道路や第一勘太踏切の現在の状況は、極めて危険であり、事故を未然に防ぐ抜本的で具体的な措置が速やかに必要です。整備されたのは数十年前であり、周辺の住宅数の増加など環境は大きく変化しています。通学路での児童生徒の安全確保にとどまらず、地域住民の安全を確保するためにも下記の措置を強く求めます。

### <要望内容>

1. 当該道路及び第一勘太踏切における安全確保のために各関係機関において具体的な対策を講ずるための連携をすること
2. 通勤通学時間帯における歩行者の安全を確保するための具体的な措置を速やかに講ずること
3. 車の相互通行と歩行者が安全に通行できるよう、第一勘太踏切を拡幅すること
4. 当該道路における雨天時の水たまり箇所を調査し、発生しないよう改善すること